

書名：いつか、きっと！

著者：横沢彰

出版社：新日本出版社

出版年月：1999年3月

総ページ数：189ページ

ISBN：4406026487



推薦者

池田誠喜

鳴門教育大学大学院講師

教職実践力高度化コース

「いつか、きっと！」は、小学生の高学年～中学生向けに書かれた児童文学書である。作者の横沢彰氏は現役の中学校の教師でもある。大学在学中に日本児童文学者協会新人賞を受賞した。卒業後、作家を目指して執筆活動に入るが、作品を発表することができず教職に就いた。それから本作が出版されるまで17年、自分自身の教師の歩みの中で生み出した作品である。たまたま、私が中学校教師の仲間として横沢氏と一緒にの時間を過ごしていたときに発表された作品である。

横沢氏の作品には、大人になることに戸惑いをみせ悩みを抱え迷いながらも前へ進む中学生の姿が、ご自身の生徒としての体験と教師としての経験を絡ませながら見事に描かれている。その理由は、横沢氏のデビュー作品「まなざし」を発表したときのコメントから知ることができる。「僕は中学生の頃に悩んだ“なんで”の答えを見つけだすどころか、それらのことを適当に忘れ去ることにより、<おとな>になろうとしています。あれほど嫌っていた<おとな>に、ぼくは着実に近づいています。このままじゃだめだぞ！あの頃の問いを放り捨てちまって、このまま要領よく<おとな>になったらおしまいだぞ！おれは要領よく社会に出るために大学にきたんでないんだぞ！」ということばである。横沢氏の作品の原点は常にここにあるのである。

本作は、中学三年生の女子が不登校に悩み続けるなか、担任教師とのふれ合いにより少しずつ前へ進もうとする姿を描いている。昔も今も変わらない中学生の気持ちに触れることができる。そして教師としての思いが作品の端々から伝わってくる。教師を志す学生の皆さんに、ぜひとも呼んでいただきたい一冊である。

引用 「まなざし」 1982 新日本出版社 p170

